様式第二号の九（第八条の四の六関係）　　（第1面）

産業廃棄物処理計画実施状況報告書

令和５年６月１６日

広島県知事　　様

提出者

住所　　広島県江田島市江田島町小用五丁目１番１号

氏名　　中国化薬株式会社　江田島工場
常務取締役工場長　　内村　浩

（法人にあっては，名称及び代表者の氏名）

電話番号　　０８２３－４３－０１２１

廃棄物の処理及び清掃に関する法律第12条第10項の規定に基づき，令和４年度の産業廃棄物処理計画の実施状況を報告します。

事業場の名称	中国化薬株式会社　江田島工場
事業場の所在地	広島県江田島市江田島町小用五丁目１番１号
事業の種類	火薬類製造業
産業廃棄物処理計画における計画期間	令和４年４月～令和５年３月

産業廃棄物処理計画における目標値　　別紙４のとおり

項目	目標値	項目	目標値
排出量	t	全処理委託量	t
自ら再生利用を行う産業廃棄物の量	t	優良認定処理業者への処理委託量	t
自ら熱回収を行う産業廃棄物の量	t	再生利用業者への処理委託量	t
自ら中間処理により減量する産業廃棄物の量	t	認定熱回収業者への処理委託量	t
自ら埋立処分又は海洋投棄処分を行う産業廃棄物の量	t	認定熱回収業者以外の熱回収を行う業者への処理委託量	t

計画の実施状況　（産業廃棄物の種類:　　）

別紙3のとおり

項目	実績値
①排出量	
②＋⑧自ら再生利用を行った量	
⑤自ら熱回収を行った量	
⑦自ら中間処理により減量した量	
③＋⑨ 自ら埋立処分又は海洋投入処分を行った量	
⑩全処理委託量	
⑪優良認定処理業者への処理委託量	
⑫再生利用業者への処理委託量	
⑬熱回収認定業者への処理委託量	
⑭熱回収認定業者以外の熱回収を行う業者への処理委託量	

（第2面）

備考

1　翌年度の6月30日までに提出すること。

2　「事業の種類」の欄には，日本標準産業分類の区分を記入すること。

3　「産業廃棄物処理計画における目標値」の欄には，項目ごとに，産業廃棄物処理計画に記載した目標値を記入すること。

4　第２面には，前年度の産業廃棄物の処理に関して，①～⑭の欄のそれぞれに，(1)から(14)に掲げる量を記入すること。

(1) ①欄　当該事業場において生じた産業廃棄物の量
(2) ②欄　(1)の量のうち，中間処理をせず直接自ら再生利用した量
(3) ③欄　(1)の量のうち，中間処理をせず直接自ら埋立処分又は海洋投入処分した量
(4) ④欄　(1)の量のうち，自ら中間処理をした産業廃棄物の当該中間処理前の量
(5) ⑤欄　(4)の量のうち，熱回収を行った量
(6) ⑥欄　自ら中間処理をした後の量
(7) ⑦欄　(4)の量から(6)の量を差し引いた量
(8) ⑧欄　(6)の量のうち，自ら利用し，又は他人に売却した量
(9) ⑨欄　(6)の量のうち，自ら埋立処分及び海洋投入処分した量
(10) ⑩欄　中間処理及び最終処分を委託した量
(11) ⑪欄　(10)の量のうち，優良認定処理業者（廃棄物の処理及び清掃に関する法律施行令第６条の11第２号に該当する者）への処理委託量
(12) ⑫欄　(10)の量のうち，処理業者への再生利用委託量
(13) ⑬欄　(10)の量のうち，認定熱回収施設設置者（廃棄物の処理及び清掃に関する法律第15条の３の３第１項の認定を受けた者）である処理業者への焼却処理委託量
(14) ⑭欄　(10)の量のうち，認定熱回収施設設置者以外の熱回収を行っている処理業者への焼却処理委託量

5　第２面の左下の表には，項目ごとに，産業廃棄物処理計画に記載したそれぞれの実績値を記入すること。

6　産業廃棄物の種類が２以上あるときは，産業廃棄物の種類ごとに，第２面の例により産業廃棄物処理計画の実施状況を明らかにした書面を作成し，当該書面を添付すること。

7　※欄は記入しないこと。

別紙3-その1（廃棄物処理法-産業廃棄物処理計画実施状況報告書）
（令和4年度実績）

単位:トン／年

産業廃棄物の種類	① 排出量	② 自ら直接再生利用した量	③ 自ら直接埋立処分又は海洋投入処分した量	④ 自ら中間処理した量	⑤ ④のうち熱回収を行った量	⑥ 自ら中間処理した後の残さ量	⑦ 自ら中間処理により減量した量	⑧ 自ら中間処理した後，再生利用した量	⑨ 自ら中間処理した後，自ら埋立処分又は海洋投入処分した量	⑩ 直接及び自ら中間処理した後の処理委託量	⑪ ⑩のうち優良認定処理業者への処理委託量	⑫ ⑩のうち再生利用業者への処理委託量	⑬ ⑩のうち熱回収認定業者への処理委託量	⑭ ⑩のうち熱回収認定業者以外の熱回収を行う業者への処理委託量
燃え殻														
汚泥	25			0		0	0			25	9	21		
廃油	0									0	0			0
廃酸	2023			2010			2010			13		13		
廃アルカリ	461			458			458			2		2		
廃プラスチック類	18			4		0	4			14	1	11		
紙くず	35			0		0	0			35		30		
木くず	31			0		0	0			31		31		
繊維くず	3			0		0	0			3				
動植物性残さ	1									1				
動物系固形不要物														
ゴムくず	0									0	0			
金属くず	0									0	0	0		
ガラスくず・コンクリートくず及び陶磁器くず	1									1	1	0		
鉱さい														
がれき類	0									0				
動物のふん尿														
動物の死体														
ばいじん														
合計	2598	0	0	2473	0	0	2473	0	0	126	12	109	0	0

※上記に分類できない産業廃棄物がある場合に限り，空欄へその産業廃棄物の具体的な名称を記入してください。
様式第二号の九の第2面に記載された産業廃棄物の発生から処理までのフロー（①～⑭）に示す量を表に入力。

別紙3－その2

単位:トン／年

実　績　値									
①	②＋⑧	⑤	⑦	③＋⑨	⑩	⑪	⑫	⑬	⑭
排出量	自ら再生利用を行った量	自ら熱回収を行った量	自ら中間処理により減量した量	自ら埋立処分又は海洋投入処分を行った量	全処理委託量	優良認定処理業者への処理委託量	再生利用業者への処理委託量	熱回収認定業者への処理委託量	熱回収認定業者以外の熱回収を行う業者への処理委託量
0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
25	0	0	0	0	25	9	21	0	0
0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
2023	0	0	2010	0	13	0	13	0	0
461	0	0	458	0	2	0	2	0	0
18	0	0	4	0	14	1	11	0	0
35	0	0	0	0	35	0	30	0	0
31	0	0	0	0	31	0	31	0	0
3	0	0	0	0	3	0	0	0	0
1	0	0	0	0	1	0	0	0	0
0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
1	0	0	0	0	1	1	0	0	0
0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
2598	0	0	2473	0	126	12	109	0	0

別紙4（廃棄物処理法−産業廃棄物処理計画実施状況報告書）

（令和4年度実績）

単位：トン／年

	目標値		実績値
排出量	2357.6	①排出量	2598
自ら再生利用を行う産業廃棄物の量		②自ら直接再生利用した量	
自ら熱回収を行う産業廃棄物の量		⑤自ら熱回収を行った量	
自ら中間処理により減量する産業廃棄物の量	2118.4	⑦自ら中間処理により減量した量	2473
自ら埋立処分又は海洋投入処分を行う産業廃棄物の量		③自ら埋立処分又は海洋投入処分した量	
全処理委託量	240.2	⑩全処理委託量	126
優良認定処理業者への処理委託量	9.1	⑪優良認定処理業者への処理委託量	12
再生利用業者への処理委託量	222.1	⑫再生利用業者への処理委託量	109
熱回収認定業者への処理委託量		⑬熱回収認定業者への処理委託量	
熱回収認定業者以外の熱回収を行う業者への処理委託量		⑭熱回収認定業者以外の熱回収を行う業者への処理委託量	

様式第二号の八（第八条の四の五関係）　　（第1面）

産業廃棄物処理計画書

令和５年６月１６日

広島県知事　　様

提出者

住所　　広島県江田島市江田島町小用五丁目１番１号

氏名　　中国化薬株式会社　江田島工場
常務取締役工場長　　内村　浩

（法人にあっては，名称及び代表者の氏名）

電話番号　　０８２３－４３－０１２１

廃棄物の処理及び清掃に関する法律第12条第9項の規定に基づき，産業廃棄物の減量その他その処理に関する計画を作成したので，提出します。

事業場の名称	中国化薬株式会社　江田島工場
事業場の所在地	広島県江田島市江田島町小用五丁目１番１号
計画期間	令和５年４月～令和６年３月
当該事業場において現に行っている事業に関する事項	**別紙１，２のとおり**
①事業の種類	
②事業の規模	
③従業員数	
④産業廃棄物の一連の処理の工程	

産業廃棄物の処理に係る管理体制に関する事項	別紙１，２のとおり
（管理体制図）	

産業廃棄物の排出の抑制に関する事項	別紙１，２のとおり		
①現状	【前年度（　　年度）実績】		
	産業廃棄物の種類		
	排出量	t	t
	（これまでに実施した取組）		
②計画	【目標】		
	産業廃棄物の種類		
	排出量	t	t
	（今後実施する予定の取組）		

産業廃棄物の分別に関する事項	別紙１，２のとおり
①現状	（分別している産業廃棄物の種類及び分別に関する取組）
②計画	（今後分別する予定の産業廃棄物の種類及び分別に関する取組）

自ら行う産業廃棄物の再生利用に関する事項		別紙１，２のとおり	
①現状	【前年度（　　年度）実績】		
	産業廃棄物の種類		
	自ら再生利用を行った産業廃棄物の量	t	t
	（これまでに実施した取組）		
②計画	【目標】		
	産業廃棄物の種類		
	自ら再生利用を行う産業廃棄物の量	t	t
	（今後実施する予定の取組）		

自ら行う産業廃棄物の中間処理に関する事項		別紙１，２のとおり	
①現状	【前年度（　　年度）実績】		
	産業廃棄物の種類		
	自ら熱回収を行った産業廃棄物の量	t	t
	自ら中間処理により減量した産業廃棄物の量	t	t
	（これまでに実施した取組）		
②計画	【目標】		
	産業廃棄物の種類		
	自ら熱回収を行う産業廃棄物の量	t	t
	自ら中間処理により減量する産業廃棄物の量	t	t
	（今後実施する予定の取組）		

自ら行う産業廃棄物の埋立処分又は海洋投入処分に関する事項			別紙１，２のとおり
①現状	【前年度（　　年度）実績】		
	産業廃棄物の種類		
	自ら埋立処分又は海洋投入処分を行った産業廃棄物の量	t	t
	（これまでに実施した取組）		
②計画	【目標】		
	産業廃棄物の種類		
	自ら埋立処分又は海洋投入処分を行う産業廃棄物の量	t	t
	（今後実施する予定の取組）		

産業廃棄物の処理の委託に関する事項			別紙１，２のとおり
①現状	【前年度（　　年度）実績】		
	産業廃棄物の種類		
	全処理委託量	t	t
	優良認定処理業者への処理委託量	t	t
	再生利用業者への処理委託量	t	t
	認定熱回収業者への処理委託量	t	t
	認定熱回収業者以外の熱回収を行う業者への処理委託量	t	t
	（これまでに実施した取組）		

	②計画	【目標】	別紙１，２のとおり	
		産業廃棄物の種類		
		全処理委託量	t	t
		優良認定処理業者への処理委託量	t	t
		再生利用業者への処理委託量	t	t
		認定熱回収業者への処理委託量	t	t
		認定熱回収業者以外の熱回収を行う業者への処理委託量	t	t
		（今後実施する予定の取組）		
※事務処理欄				

備考

1　前年度の産業廃棄物の発生量が1,000トン以上の事業場ごとに１枚作成すること。

2　当該年度の６月30日までに提出すること。

3　「当該事業場において現に行っている事業に関する事項」の欄は，以下に従って記入すること。

(1)①欄には，日本標準産業分類の区分を記入すること。
(2)②欄には，製造業の場合における製造品出荷額（前年度実績），建設業の場合における元請完成工事高
（前年度実績），医療機関の場合における病床数（前年度末時点）等の業種に応じ事業規模が分かるよ　うな前年度の実績を記入すること。
(3)④欄には，当該事業場において生ずる産業廃棄物についての発生から最終処分が終了するまでの一連の処理の工程（当該処理を委託する場合は，委託の内容を含む。）を記入すること。

4　「自ら行う産業廃棄物の中間処理に関する事項」の欄には，産業廃棄物の種類ごとに，自ら中間処理を行うに際して熱回収を行った場合における熱回収を行った産業廃棄物の量と，自ら中間処理を行うことによって減量した量について，前年度の実績，目標及び取組を記入すること。

5　「産業廃棄物の処理の委託に関する事項」の欄には，産業廃棄物の種類ごとに，全処理委託量を記入するほか，その内数として，優良認定処理業者（廃棄物の処理及び清掃に関する法律施行令第６条の11第２号に該当する者）への処理委託量，処理業者への再生利用委託量，認定熱回収施設設置者（廃棄物の処理及び清掃に関する法律第15条の３の３第１項の認定を受けた者）である処理業者への焼却処理委託量及び認定熱回収施設設置者以外の熱回収を行っている処理業者への焼却処理委託量について，前年度実績，目標及び取組を記入すること。

6　それぞれの欄に記入すべき事項の全てを記入することができないときは，当該欄に「別紙のとおり」と記入し，当該欄に記入すべき内容を記入した別紙を添付すること。また，産業廃棄物の種類が３以上あるときは，前年度実績及び目標の欄に「別紙のとおり」と記入し，当該欄に記入すべき内容を記入した別紙を添付すること。また，それぞれの欄に記入すべき事項がないときは，「―」を記入すること。

7　※欄は記入しないこと。

別紙1（廃棄物処理法−産業廃棄物処理計画書）
現状：前年度（令和４年度）実績量
計画：今年度（令和５年度）計画量

単位:トン／年

産業廃棄物の種類	排出抑制に関する事項		自ら行う再生利用に関する事項		自ら行う中間処理に関する事項				自ら行う埋立処分等に関する事項		処理委託に関する事項									
	排出量（前年度実績値の①）		自ら再生利用を行う産業廃棄物の量（前年度実績値の②+⑧）		自ら熱回収を行う産業廃棄物の量（前年度実績値の⑤）		自ら中間処理により減量する産業廃棄物の量（前年度実績値の⑦）		自ら埋立処分又は海洋投入処分を行う産業廃棄物の量（前年度実績値の③+⑨）		全処理委託量（前年度実績値の⑩）		優良認定処理業者への処理委託量（前年度実績値の⑪）		再生利用業者への処理委託量（前年度実績値の⑫）		認定熱回収業者への処理委託量（前年度実績値の⑬）		認定熱回収業者以外の熱回収を行う業者への処理委託量（前年度実績値の⑭）	
	現状	計画	現状	計画	現状	計画	現状	計画	現状	計画	現状	計画	現状	計画	現状	計画	現状	計画	現状	計画
燃え殻																				
汚泥	24.7	27.2					0.1	0.2			24.5	27.0	8.9	7	21.0	25.0				
廃油	0.5	0.6									0.5	0.6	0.5	0.6					0.46	0.6
廃酸	2023.0	2441.5					2009.6	2427.0			13.5	14.5			13.5	13.5				
廃アルカリ	460.8	365					458.3	362.0			2.4	3.0			2.4	3.0				
廃プラスチック類	17.9	19.9					4.2	4.5			13.6	15.4	1.3	1	10.6	11.5				
紙くず	34.9	38.4					0.3	0.4			34.6	38.0			30.1	33.0				
木くず	31.3	36.7					0.0	0.1			31.2	36.6			31.0	36.0				
繊維くず	3.4	3.5					0.0	0.1			3.3	3.4								
動植物性残さ	0.7	0.7									0.7	0.7								
動物系固形不要物																				
ゴムくず	0.1	0.1									0.1	0.1	0.1	0.1						
金属くず	0.4	0.6									0.4	0.6	0.3	0.3	0.4	0.5				
ガラスくず・コンクリートくず及び陶磁器くず	0.5	0.7									0.5	0.7	0.5	0.5	0.1	0.1				
鉱さい																				
がれき類	0.1	0.1									0.1	0.1								
動物のふん尿																				
動物の死体																				
ばいじん																				
合計	2598.2	2935	0	0	0	0	2472.6	2794.2	0.0	0.0	125.5	140.8	11.6	9.5	109.1	122.6	0	0	0.5	0.6

別紙２（廃棄物処理法-産業廃棄物処理計画書）

１　当該事業場において行っている事業に関する事項

①事業の種類	火薬類製造業
②事業の規模	５，７０２百万円（生産売上高）
③従業員数	２７５人
④産業廃棄物の 一連の処理の工程	別添第１のとおり

２　産業廃棄物の処理に係る管理体制に関する事項（管理体制図等，別紙を参照）

別添第２のとおり

３　産業廃棄物の排出の抑制に関する事項

①現状	（これまでに実施した取組） 工場に入ってくる原料の梱包方法の変更（廃プラ、木屑の削減） 工場に入ってくる乾燥剤（原料に入っているもの）の削減
②計画	（今後実施する予定の取組） 現状継続

４　産業廃棄物の分別に関する事項

①現状	（分別している産業廃棄物の種類及び分別に関する取組） １．汚れの有無及び種類（段ボール、普通紙等）での紙の分別 ２．汚れの有無及び種類での廃プラスチックの分別 ３．金属の種類毎の分別
②計画	（今後，分別する予定の産業廃棄物の種類及び分別に関する取組） 現状継続（但し、分別意識の推進を実施）

5　自ら行う産業廃棄物の再生利用に関する事項

①現状	（これまでに実施した取組） なし
②計画	（今後実施する予定の取組） なし

6　自ら行う産業廃棄物の中間処理に関する事項

①現状	（これまでに実施した取組） 社内焼却：廃酸、廃アルカリ、廃プラ、木屑、汚泥、紙屑
②計画	（今後実施する予定の取組） 現状継続

7　自ら行う産業廃棄物の埋立処分又は海洋投入処分に関する事項

①現状	（これまでに実施した取組） なし
②計画	（今後実施する予定の取組） なし

8　産業廃棄物の処理の委託に関する事項

①現状	（これまでに実施した取組） できるだけ廃棄物をリサイクルする業者に委託する。 できるだけサーマルリサイクルを行っている業者に委託する。
②計画	（今後実施する予定の取組） 現状継続（但し、リサイクル意識の推進を実施）

産業廃棄物の処理工程　　別添第1

ｹｰｽ1：　発生 → 自社焼却

ｹｰｽ2：　発生 → 自社焼却 → 業者委託（最終）

ｹｰｽ3：　発生 → 自社焼却 → 業者委託（中間） → 業者委託（最終又はﾘｻｲｸﾙ）

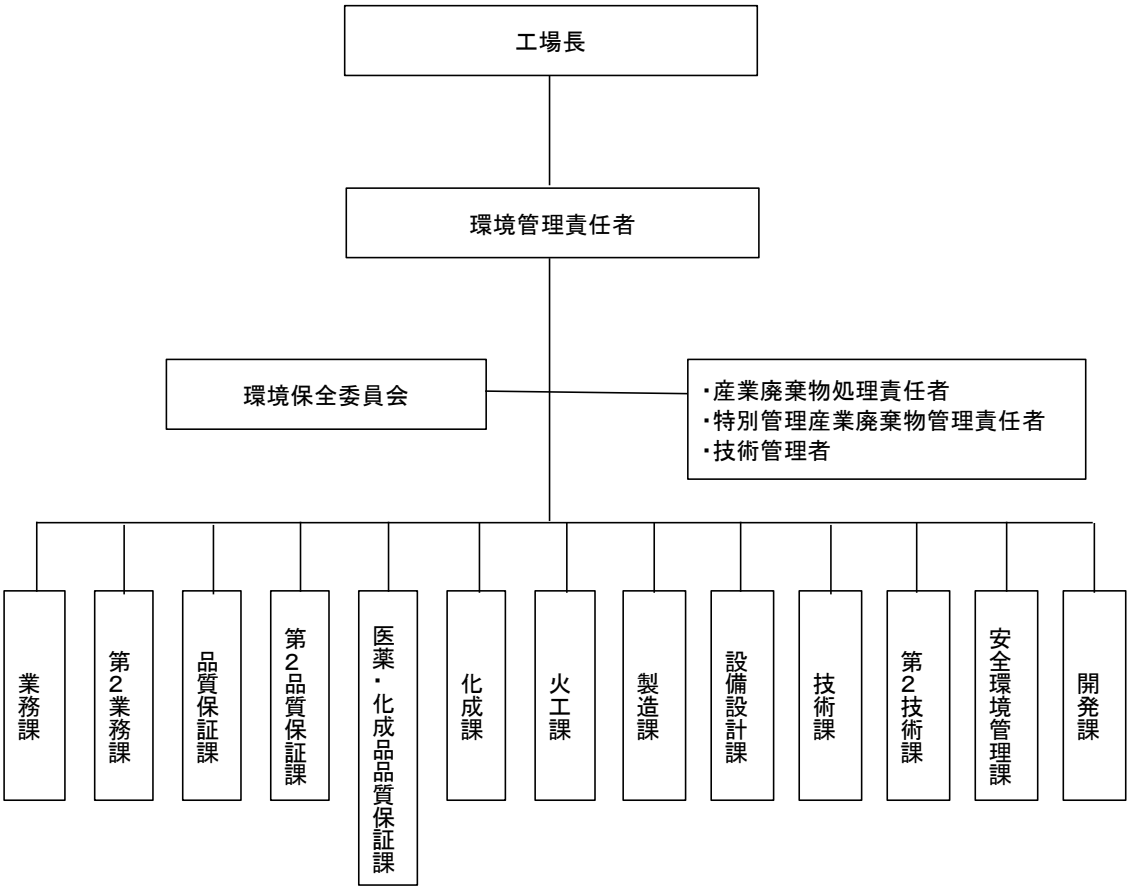
ｹｰｽ4：　発生 → 業者委託（最終）

ｹｰｽ5：　発生 → 業者委託（中間） → 業者（最終又はﾘｻｲｸﾙ）

処理工程 / 廃棄物の種類	自社処理	自社処理→ 残渣を業者委託		直接業者委託	
	ｹｰｽ1	ｹｰｽ2	ｹｰｽ3	ｹｰｽ4	ｹｰｽ5
燃え殻				○	○
汚泥		○			○
廃油					○
廃酸	○				○
廃アルカリ	○				○
廃プラスチック類		○			○
紙くず		○			○
木くず		○			○
動植物性残さ		○			○
金属くず			○		○
ガラスくず・コンクリートくず 及び陶磁器くず				○	○
がれき類					○

別添第２

管理体制図


工場長
環境管理責任者
環境保全委員会
・産業廃棄物処理責任者
・特別管理産業廃棄物管理責任者
・技術管理者
業務課
第２業務課
品質保証課
第２品質保証課
医薬・化成品品質保証課
化成課
火工課
製造課
設備設計課
技術課
第２技術課
安全環境管理課
開発課